

平成30年度教育講演会(みどり市)

## 気になる子どもたちへの支援と 学級づくり

「気になる子」が笑顔になるには、温かな学級づくり・教室環境づくり・保護者との関係づくり！

名城大学 曽山和彦

2018.8.23

よりよい学級づくりが  
すべての教育課題を解決する！

□「学力の秋田！」(学習指導)  
□「秋田わか杉っ子学びの十ヶ条」(生徒指導)

秋田県教委指導主事・管理主事として在職していたため、学校現場の状況はよくわかります

□「気になる子が溶けこむ授業」(特別支援教育)

「クローズアップ現代」にて紹介されたA小、その実践を継ぐB小の両校にかかわり、成果を目の当たりにしています

子どもが笑顔になる学級は、保護者もまた笑顔に！<sup>2</sup>

## 学級づくりの理論

~I think の前には理論が必要(園分)~

自尊感情＆ソーシャルスキルが今どきの子どもを観る重要ワード

□「居場所」の2条件(國分、河村)  
・「ルール」と「ふれあい(リレーション)」

□ A. マズローの階層説が「居場所」の理論ベース

ピラミッドモデルの構成要素：

- 上段：自己実現
- 中段：承認
- 下段：所属・愛
- 最下段：安全
- 最底段：生理的

だから、まずはルールなのです！<sup>3</sup>

ルールづくりは  
「2本のアンテナ」感知&対応

「話を聞く」というルール &スキル育成は？

□ 見逃さないアンテナによる感知&対応

・対決	メッセージ；
・対決	メッセージ；
・「	」；

□ 見逃さないアンテナによる感知&対応

・肯定	メッセージ；
・肯定	メッセージ；
・	；

年齢、発達段階、障害特性への留意が必要！<sup>4</sup>

## 年齢・発達段階への 配慮とは

伝わる言葉とは？

□「注意・指示＆褒め言葉」が効く・効かない境は？  
→ 10歳or思春期

□「子どもは褒めて育てる」…大ウソ！？  
→ 「境」と「落とし穴」

「大搖れの船(思春期)」から、子どもが海に投げ出された時、泳いで行く・浮き輪を投げる等、助けられる大人に！

知識・理論・技法 例：  
親業 アドラー心理学

「ありがとう」は「私」の気持ちを伝える  
最強・最高・最「幸」な言葉

障害を理由とする差別の  
解消の推進に関する法律  
(障害者差別解消法)

合理的配慮策定に向け  
教師には、教育相談・カウンセリング理論・技法も今や不可欠

□ 差別的取扱いの禁止(法定義務)  
□ 合理的配慮不提供の禁止(国・地方公共団体等は法定義務)

基礎的環境整備のもとに

2016.4月施行(2013.6月成立)  
特に、学校生活の様々な場面における「合理的配慮」に関する校内整備が必要。保護者の声に応えるために…

「推進」の要は特別支援教育コーディネーター。管理職との「タッグ」を組んで！<sup>5</sup>

## ASDに対する 「理にかなう」支援

よりよい学級・授業づくりに向け  
合理的配慮を必要とする  
子どもが増えている

- 視覚情報の活用 ←フォトグラフィックメモリー
- 一度にひとつ ←短期記憶の弱さ
- 予定の伝達 ←見通しのもちにくさ
- 肯定的表現 ←苦手な禁止、注意
- 文化に寄り添う
  - ◇ 感覚の過敏性  
(例)触覚、聴覚、視覚、嗅覚、味覚等
  - ◇ 字義性  
(例)真っ直ぐ家に帰るのよ → あそこの角を曲がらないと  
帰れないよう~

「文化に寄り添う」以外は、**ユニバーサルな支援**もあり！

## ふれあいづくりは 「縦糸」と「横糸」を織り上げる

- 縦糸：教師と子どもを結ぶ糸
- 横糸：子ども同士を結ぶ糸

私の故郷はかつて「西の西陣・東の桐生」と  
言われた織物の街。母は元「機織り」  
母の話と学級づくりが全く同じ！

皆さんの学級の「縦糸 & 横糸」の状態は？

## 教師と子どもの 「縦糸」を織るワザ

主に自尊感情へのアプローチ

- 全ての子どもに声かけという「ボール」を投げる
 

気になる子は「褒められ、叱られ」、「ボール」を「グローブ」で多く受けている。周りの子は？ 気になる子には**学校全体で「ボール」を投げよう！**

Q-U実施の意義
- 子どもの「長所」や「好き・得意なこと」等を使い、  
褒める・勇気づける・認める

「気になる子」の長所を見つけられるのが「プロ」

## 子ども同士の 「横糸」を織るワザ

主にソーシャルスキルへのアプローチ

- 短時間＆ゲーム感覚で楽しめる  
グループアプローチを活用する

ふれあいづくりの「花火を打ち上げる」と  
「火を灯し続ける」

学校生活の様々な場面で  
スキルの強化＆般化

最強打ち上げ花火  
「アドジャン」

秀逸！依佐美中（愛知）実践 「王道Ⅱ」参照

子どもも遊び。でも、私たち（教師）は遊んでいない

## ソーシャルスキル・トレーニング(SST:social skill training)；「行動」の教育

□ SSTの骨子  
してみせて、言って聞かせて、させてみて  
ほめてやらねば 人は動かじ  
(山本五十六)

<基本展開>

1. インストラクション(言語教示)
2. モデリング(示範)
3. リハーサル(実行)
4. フィードバック(評価)

演習；アドジャン

ねらい；挨拶、話の仕方、  
話の聞き方(聞き、視線、表情等)

## 構成的グループ・エンカウンター(SGE; structured group encounter)；「感情」の教育

SGEの2本柱；エクササイズ＆シェアリング

- ・エクササイズのやり放しにせず、「○○に気づいた、○○を感じた」等、個々の気づきをうながすシェアリングがとても大切

演習；アドジャン

ねらい；自他理解

## ソーシャルスキルとは よりよい人付き合いの「型」

まずは「型」から

□ 「型の中に見出す違いが個性になる」(松平)

技術・コツ・テクニックを身につけるには、「型」を習得することから始まる。私の卓球も合気道もスピーチも全ては「型の教育」。ソーシャルスキルとは「人ととかかわる技術・コツ」のこと。例えば、挨拶やうなづきというスキルもまずは「型」を教える。ある程度、「型」が身に付く中で、「元気な挨拶」「しつとりとした挨拶」などの違いが、その子らしい「個性」として見えてくる。

行動理論の「人間観」;「人は白紙(タブラ・ラサ)」 13

## 教室環境づくり

黒板周りをスッキリ！  
その理由は？

ADHD、ASDの子どもが在籍する学級では、黒板周りをスッキリさせることが「王道」。それはなぜか？

「現象」が起こらないように。健常な人はパーティーのような会話が飛び交う中でも、必要情報を聞き取れる( )。しかし、発達障害児はその注意が難しい。

黒板周りをスッキリ！ → ユニバーサルでもあり 14

## 保護者の声から 見出す関係づくりのヒント

□ 先生は、私の話を否定することなく、いつも真剣に聴いてくださった。それが何よりもうれしかった(自閉症児の母) → 傾聴

□ 構えずに話を聴いてほしい。一緒に考えましょうと言ってほしい。そうすれば先生方を信頼できる(アスペルガー児の母) → エンブティスク린

逆転移に注意！ 15

## 悩める保護者との 向き合い方

保護者の背中を  
ひと押しするために

□ 憲める保護者を元気にするには？

・「あの人気が頷くだけで出る勇気」

・「一緒に考えていきましょう」と伝える 16

## まとめ ～温かな学級づくりのために～

□ 軌跡が奇跡を生み輝跡となる

□ 一つだけでは多すぎる(外山滋比古)

□ 今見ている景色も楽しむ

また、お会いしましょう！ 17

## 連絡先

～Mail;[kazu3623@hotmail.com](mailto:kazu3623@hotmail.com)～

□ 実践上の悩みがあればメールを！

□ HP;「KAZU・和・POCKET」に情報満載！

□ Blog;「Today's pocket」は毎日更新！

「ご縁」をご活用ください 18

**拙著紹介**

### 「オニの心」シリーズ(明治図書)

私の初単著！ 思い出の著作です！

「オニの心」は私のお気に入りのタイトル

19

**拙著紹介**

### 「気になる子」シリーズ(教育開発研究所)

全国各地の「仲間」と創り上げた本です！

優しい色合いの表紙も私のお気に入り

20

**拙著紹介**

### 「王道」シリーズ(文溪堂)

私の実践・研究の現在地をまとめました！

「王道—正攻法の基本型」の教育を目指して

21

**拙著紹介**

### 親から子へ かかわりの糸を結ぶ21の言葉(文溪堂)

今、私が一番創りたかった本…  
「先生方の応援者」であることに加え、「保護者の応援者」にもなりたくて書き上げた本です！

このタイトルで多くのPTA講演もお受けしています！

私の応援メッセージが届きますように

22